

「ごみ拾いは、スポーツだ！」

～しまもとバンブークラブ（大阪府島本町）のスポーツごみ拾い大会～

スポーツごみ拾いとは

しまもとバンブークラブでは毎年、コミュニケーションを通して地域の活性化、クラブの啓発活動、地域への貢献を目的とした「しまもとスポーツステーション」を開催しています。21回を数える平成25年1月のイベントでは、第二回「ごみ拾いは、スポーツだ！ スポーツごみ拾い大会」を開催しました。

開催前には、一般社団法人日本スポーツGOMI 拾い連盟からルール指導を受けました。拾ったごみの重さで順位をつけるなど競技性を持たせてごみ拾いを行うのが「スポーツごみ拾い」です。同じ目的に向かって、各チーム内での団結や達成感を期待した企画です。様々な場所でごみを拾うことで、今まで気がつかなかった「住んでいる町の環境」を理解することもできます。



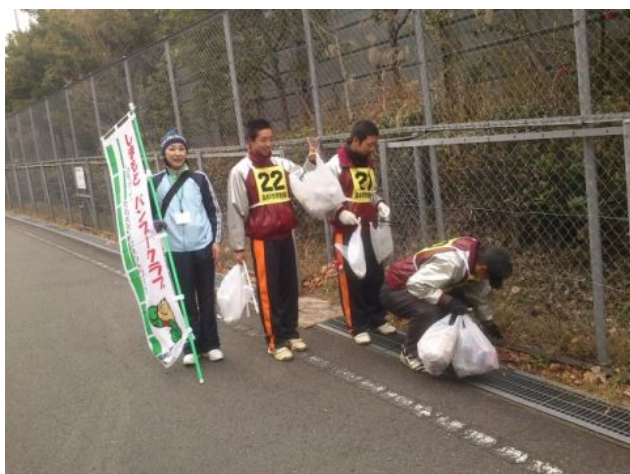
各方面からの応募で、増える参加者

初回の昨年は少人数での開催でしたが、「ごみ拾いの感覚が変わった」「次回も、ぜひ参加する」と好評で、今回につながるイベントになりました。

対象は小学生以上で、チームとしての参加募集だけでなく、チーム編成はクラブにお任せで一人からでも参加可能な募集内容にしました。町内4校の小学校へチラシを配布し、広報活動も広げたところ、各方面から、また家族、友達、スポーツチームとしての応募がありました。

近隣の島本高校野球部による若くて力強いごみの拾いぶりに、周囲の参加者も大いに盛り上がりました。

一見綺麗に見える町ですが、意外なごみに驚く声上がり、缶やビン、ペットボトルが故意に捨てられ、たばこや小さなごみが道端のあちらこちらに落ちている現状を見て、参加者の皆さんは、それぞれ感じる事が多くあったようです。競技終了後、拾ったごみの量の測定会場では、お互い、ごみ拾いの感想を話し合う場になっていました。



スタッフの士気も上がる

しまもとバンブークラブのポロシャツを着用したスタッフがクラブの「のぼり」を持ち、各チームの審判として町内をついて歩きました。スタッフから好意的な声をかけてもらったとの参加者からの報告もあり、クラブの効果的な啓発活動になったと感じています。なにより参加された皆さんに喜んでもらえたことで、スタッフの士気も大いに上がりました。

安全面では、一般の道路をエリアとするので、自動車や自転車に対する注意が必要な場面もいくつかあります。しかし、ルールに「走らない」「チーム内は10メートル以上離れない」とあるので、見守る側のスタッフの負担は少ないイベントです。

ごみを分別しつつ拾うので、一人ひとりのごみへの意識が高くなります。それまでの町への想いが、今までとは一味違ったものになっていくのではないかと期待しています。次年の開催も多くの方に参加いただけるよう、楽しい企画を検討したいと思っています。

(柳瀬みゆき しまもとバンブークラブ 事業部)

【しまもとバンブークラブ プロフィール】

1. 設 立 年月日：平成19年2月25日

経緯：行政の声かけで島本町スポーツクラブ設立準備委員会を発足し、準備委員会・研修会・勉強会（グループワーク）実施後、広報活動を開始した。イベントや講演会・お試し教室を経て、平成19年2月に設立、現在に至る。

2. 地 域 人口：30,842人（平成25年2月現在）

特性：京都と大阪の境に位置し、自然豊かな歴史ある町である。

3. 運 営 会員数：393名（平成25年2月現在）

予算規模：約1千万円（平成24年度）

4. 特 徴 「温かい人づくり、まちづくり、ふるさとづくり」をモットーに、20数名のボランティアスタッフが運営に携わっている。会員さんとのコミュニケーションを大切にしている。

5. 連絡先 〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井 2-25-1

TEL・FAX: 075-202-4533

Email: shimamotobamboo-club@nike.eonet.ne.jp

URL: www.geocities.jp/shimamotobamboo